

大型タンク清掃事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 大型タンク洗浄工事、配管洗浄工事、廃水処理工事、配管工事、タンク関連メンテナンス工事、環境改善事業(VOCガス回収)、タンク洗浄機器の開発とレンタル事業
2023年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ● 悪天候で工事が遅れ売上高と営業利益は目標未達。国家備蓄石油タンク洗浄は新規案件を獲得しシェア75%を達成した ● 来期はシステム機工とダイセキとのシナジーで売上高増加を見込む
基本戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● COW工法という大型原油タンクに堆積した原油スラッジを安全、短期間、廉価に排出回収する工法として今では世界標準の技術をブラッシュアップしてタンク洗浄、配管洗浄等、関連事業の多角化を目指す
市場環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内の石油タンク洗浄事業の市場規模は100億円程度。石油業界は縮小傾向にあるため事業の多角化が急がれる

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	<p>Strength (強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 豊富な資機材で高い機動力を確保している ● 機器整備や更新を通年で行っており、資機材の健全性を維持確保している 	<p>Weakness (弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 世間の潮流と同じく、人材確保が厳しい状況下にある
	<p>Opportunity (機会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施設保全以外にも、解体や設備内容改変など、洗浄を要する機会は広くある 	<p>Threat (脅威)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 化石燃料の需要減から、石油貯蔵設備数は減少している
外部要因		

今後の成長戦略

- エネルギー企業の顧客が事業を継続できるように安全と環境を守るためのサービスを提供する。今後円安基調に乗じた海外への資機材の販売、工場閉鎖に伴う各種洗浄工事の受注等により売上高50億円を目指す。